

※下絵は平成9年9月・11年6月・11年7月・12年9月の4洪水の浸水実績（現地調査や聞き取り）により作成した安城市浸水マップです。

特集

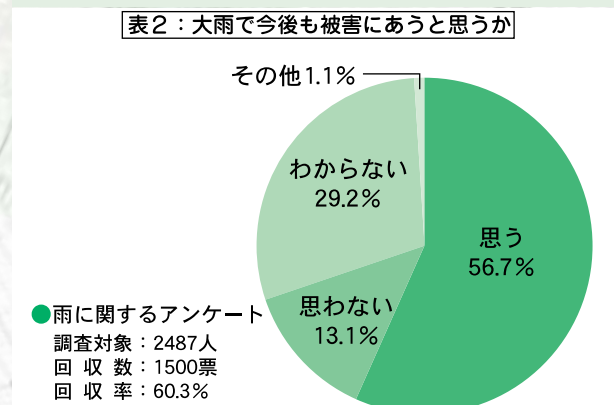
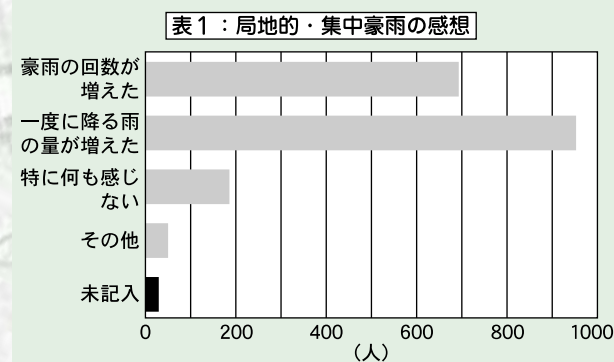
安城市雨水マスタープランを策定しています

より雨に強いまちづくり

■ゲリラ豪雨の脅威

突発的な局地的豪雨や集中豪雨による災害がたびたび報告されています。昨年8月末に発生した局地的豪雨では、安城市でも1時間降水量最大77㎜総雨量226㎜を記録。床上浸水15戸、床上浸水72戸の被害がでました。このような状況の中、市は、

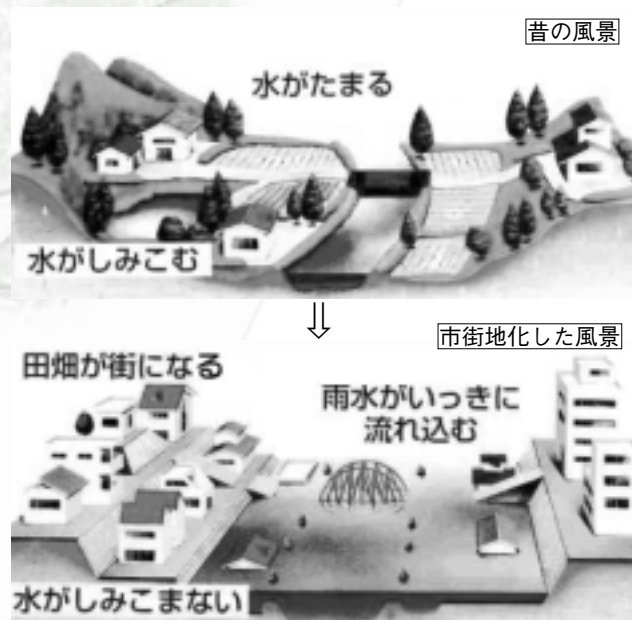
少しでも雨による浸水被害を軽減するために、「安城市雨水マスタープラン（以下マスタープラン）」づくりを進めています。このマスタープランは、市民・企業との協働などを踏まえ、雨水を貯めたり浸透させたりする施策を考え、より雨に強いまちづくりを目指すものです。昨年末、マスタープランの策



定を検討するにあたり、「雨に関するアンケート」を実施しました。その結果からも、市民の皆さんも雨による災害に対して危機感を持っていることがわかりました。（表1・2参照。アンケートの結果は市公式ウェブサイトに掲載しています。）

■雨水の行方の変化

なぜ、このような水害を受けるのか。地球をとりまく環境は近年様変わりしています。市では、昭和52年から平成15年までの間に、水田・畑の約2割が減少し、都市化が進んでいます。



その結果、水田・畑の持つ保水機能が低下。雨水の流出量が増大し、河川のはんらんの危険が高まっているのです。

■今、求められる雨水対策

市では、水害を減らすために河川や下水道（雨水）の整備を進め、同時に雨を貯められる調整

あなたの家にも小さなダムを

横山町の渡辺さんのお宅では昨年、ブランデーの樽を再利用した貯水タンクを設置しました。貯めた水をどのように使っているのか、お話を聞いてみました。



Q設置のきっかけは？

A安城市は水道代が高いし、家には井戸水もない。雨水を使って少しでも節水できたらと思いました。

Q貯まった水はどのように活用していますか？

A主には、植木の水やり。たまに自動車のタイヤの泥汚れを落とすなど、洗車にも使っています。

Q配管取り付けや、維持管理で大変なことは？

A購入費用に取り付けに必要なものは含まれていたので、自分で簡単に設置できました。購入して

から今まで問題はありません。ただ、水が貯まると臭いが出るので、年に何度か水を入れ替えることが必要でした。

Q設置後の一番のメリットは？

A植木や花の水やりなどが、水道代を気にせずできます。設置に対する補助もあって、ラッキーでした。

Q貯水タンクは、雨水利用のほか、排水路や河川の洪水対策にもなると知っていましたか？

A知りませんでした。このタンク（樽）は250ℓ貯水できますが、洪水に対してはわずかな量だと…。

…そうなんです。各家庭に設置する貯水タンクはわずかな量だと思っても、『ちりも積もれば〜』と言うことわざもあるように、皆さんの協力があれば、たくさん水を貯めることができます。大雨が予想される時などは、いったん、貯水タンクを空にして、より多くの雨水を貯水できるような準備をお願いします。

池などの整備をしてきました。しかし、そのような浸水対策だけでは、整備水準をはるかに超える最近の大雨がもたらす浸水被害を防ぐことはできません。そのため、家庭でできる身近な雨水対策として、雨を貯めるための雨水タンクや雨水を浸透させる浸透ます・浸透管・透水性舗装などの設置をお願いします。

各家庭が小さな「雨のダム」の役割を果たし、全世帯に広がれば大雨に強いまちになります。

■雨水貯留浸透施設設置補助

雨水を貯めたり浸透させたりする施設の設置に、補助金を出します。

●内容 補助金額は、工事費の2分の1。ただし、限度額は設置する施設によって異なります。参考例↓市販の200ℓ以上の貯留タンクを設置する場合、工事費の平均は、約5万2000円。このとき補助額は2万5000円となります。

※補助の対象にならないものがありますので、設置前に相談してください。

問▼土木課

☎7126269

もっと知ろうよ 総合治水のこと

5月15日(金)～21日(木)は
総合治水週間

■ビジュアルボードフェア

●内容 総合治水を知ることができ、写真や資料の展示会

●とき 8月22日(土)～27日(木)
午前9時～午後5時
※8月24日(月)を除く。

●ところ 北部公民館

■安城市洪水ハザードマップ

●内容 大雨で矢作川などの河川が溢れ、洪水が起きたときの浸水被害を予想したマップ。平成19年度に全戸配布しましたが、市公式ウェブサイトでも閲覧できます。

なお、「まちかど講座」としてマップについての説明会を用意しています。ぜひご利用ください。

●講座申し込み 市内に在住・在勤・在学する10人以上のグループで土木課へ